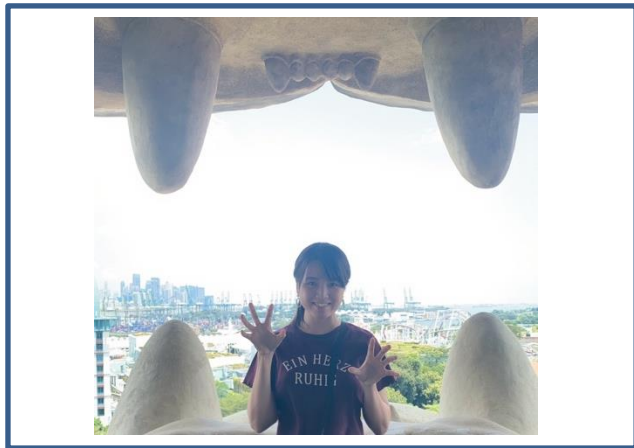


OPU Students 海外留学レポート

Study Abroad Report from the OPU students



プロフィール (Profile)

氏名 (Name) 湯蓋 彩加
所属 (School) 理学系研究科 分子科学専攻
学年 (Grade) 修士 1 回生
留学先 (Name of overseas institution)
南洋理工大学
留学期間 (study abroad period)
2019/8/12~2019/12/7
記入日 (Date) 2019/12/19

留学レポート Study Abroad Report

【留学の経緯】

大学院生になり学会等で他の大学や企業での様々な研究を知る機会が増えましたが、世界で発展している研究を知る機会は少ないのが現状です。漠然と海外の研究に興味を持っていた時、所属研究室の神川教授より、繋がりのある南洋理工大学の伊藤慎庫先生の元に研究留学に行かないかというお話を頂きました。所属研究室でも充実した研究生活を送ることができていましたが、この環境に満足せず新しい環境に飛び込み、世界で活躍する研究者や研究を知り体験してみたいと思いました。

【研究生活】

伊藤先生はヘテロ原子含有をされていて、その研究に携わらせていただきました。私も日本でπ共役系多環芳香族化合物の研究をしており、研究操作等は似ていたためスムーズに研究に取り組むことができました。また、日本で使用したことのない機械で化合物の解析をおこなったり、極性が高く溶解性が悪いといった、扱いにくい分子の研究が行えたことは大きな経験となりました。研究環境について驚いたことはセキュリティがとても厳しかったことです。研究室の中は白衣や実験メガネ、手袋をきちんと装着しているか監視カメラで常にチェックされています。研究室や分析機器のある部屋に入るには必ず個々に部屋を登録された学生証が必要でした。安全講習の講義やテストも多くあり、かなり安全に気をつかうように厳しく指導されました。日本の安全面での甘さをひしひしと感じました。他には、先生と学生の雇用関係も日本とは大きく異なり驚きました。日本では修士、博士課程共に学生が学校にお金を支払うことで研究ができますが、シンガポールでは先生が修士博士課程の学生を雇用しているため学生は給料を貰いながら研究することができます。PI(研究グループの教員ポジション)の先生から選び抜かれた生徒は非常に優秀な方ばかりで、たくさんの刺激を受けました。グループミーティングやセミナーでは沢山の質問が飛び交い、活発な議論が行われていました。実験面では特に中国人のポストドクは、本国にいる家族や婚約者のために朝早くから夜遅くまで必死で研究を進める姿が印象的でした。



【言語での苦労】

留学で苦労したことは言葉の壁が大きかったことです。シンガポール人が話すのは「シングリッシュ」と呼ばれる独特な英語であり、他の方はほとんどが第二言語で英語を使用しているため、かなり聞き取りにくかったです。周りも私が片言で話す「日本語英語」は聞き取りにくいらしく、始めはかなりコミュニケーションに苦労しました。英語が完璧にできなくてもコミュニケーションを取ることは可能ですが、やはり円滑に会話を進めるには流暢な発音や語彙力が必要だと感じました。私は英語が不得意だったので特に実験に関する会話はジェスチャーをなるべく取り入れ、きちんと理解するまで聞き返すことで、聞き間違えないように注意しました。言いたいことをうまく伝えることができずもどかしい思いをすることもありましたが、その分研究室メンバーや他の研究室の方々と仲良くなり自然体で会話できるようになった時は日本の何倍もの楽しさを感じました。



★【文化の違い】

★ シンガポールは多民族が集まる国ではありますが、中国人が圧倒的に多く人口の 7 割以上を占めています。研究室のメンバーも中国人の方が多く、滞在先のオーナーさんも中国人でした。そのため中国の文化を知る機会が多かったです。強い口調やテーブルマナーの違い等に慣れるのには少し時間がかかりましたが、違いを受け入れて自分を肯定することで気にならなくなりました。中国人の方々は想像以上に優しく暖かかったです。オーナーさんには初日に「今日から私たちは家族だよ」と言って頂き、(オーナーさんの)お父さんの誕生会に呼んで頂いたり、リビングで縄跳びをしたりととても仲良くして頂きました。様々な大学から留学生が集まったパーティーや、様々な学部から集まって開催しているバレーボールクラブなど沢山のイベントにも参加させて頂き、貴重な経験となりました。

★ 食事も様々なものをいただきました。シンガポール名物のチキンライスやチリクラブ、カヤトーストにラクサなど美味しい食べ物が多かったです。特に印象に残っているのは強烈な匂いのため公共機関では持ち込み禁止のドリアンです。伊藤先生が好きだということで紹介していただきましたが、私はあまり好きではありませんでした(笑)。シンガポールには日本食のお店やドン・キホーテもあるため日本食が恋しくなった時は足を運んでいました。

★【休日の過ごし方】

★ 休日是一人でカフェに出かけたり、現地の先輩方と観光地に出かけたりと、とても有意義な時間を過ごしました。毎週どこかに出かけていたため、シンガポールの観光地やカフェには行き尽くしました(笑)。シンガポールは地震や台風の心配がないため、電線が地面に埋め込まれています。街には至る所にゴミ箱があり、ポイ捨ては違法となります。これらの理由からどこに行っても景観が非常に綺麗でした。夜の観光スポット(ナイトサファリやナイトショーなど)が有名で、明け方まで街は多くの人で賑わっていました。そのためかなり治安が良く、私は日本よりも安全だと感じました。またシンガポールは平均寿命が世界第一位の国であり、世界一健康な国と言われています。比較的低い夜や朝にジョギングやウォーキングをする人々の姿が町中で見られ、フィットネスジムやプール等も沢山ありました。それぞれが思い思いのゆったりとした時間を過ごす雰囲気は日本と少し異なるように感じられ素敵でした。

★【留学を考えている学生さんへ】

★ 一人で新しい世界に飛び込み冒険をするのはとても勇気のいることですが、思い切って踏み出すことで必ず自分の人生の財産になると思います。私はそもそも英語が苦手なので言葉の難しさや慣れない環境、新しいことを覚えるストレスで辛いと感じた時もありましたが、過ぎてしまえば全てが良い思い出となり自分に自信を持つことができました。もし留学に興味があるのなら是非前向きに行動してみてください。私は修士学生なので金銭面に余裕がありませんでしたが「つばさ基金」等、利用できる給付型の奨学金に大変助けられました。利用可能な支援等をきちんと調べることで金銭面でも留学は難しいものではなくなると思います。

★【最後に】

★ シンガポールで過ごした 4 ヶ月は毎日が本当に濃く、充実しておりました。沢山の優秀な研究者を知ることができ、将来日本の化学業界はこのような人達と戦って行かなければならないのだと大きな刺激を受けることができました。研究面だけでなく、日本にいては感じる事のなかった異なる国の文化等を肌で感じる事ができて本当に良い経験となりました。この留学で学んだことを生かしてこれからの研究に精進して参ります。日本から快く送り出してくださった先生方や研究室メンバー、現地で関わった全ての皆様にお礼申し上げます。ありがとうございました。

